

平成16年10月29日

各 位

会社名 東亞ディーケー株式会社
代表者名 取締役社長 山崎正知
(コード番号 6848 東証第2部)
問合せ先 取締役 総務人事部長 登坂邦秀
(TEL. 03-3202-0211)

平成17年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月26日の決算発表時に公表した平成17年3月期
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年3月期中間単独業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,740	55	45
今回修正予想(B)	5,989	138	79
増減額(B-A)	249	83	34
増減率(%)	4.3	-	-
(ご参考) 前期実績(平成15年9月中間期)	5,276	315	191

2. 平成17年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,777	42	36
今回修正予想(B)	6,021	33	8
増減額(B-A)	244	9	28
増減率(%)	4.2	-	-
(ご参考) 前期実績(平成15年9月中間期)	5,310	336	208

3. 修正の理由

当中間期におきましては、民間設備投資の堅調な需要を反映し、当期の重点商品である「半導体用超純水分析計」「上下水道用分析計」「ネットワーク用機器」「透析液溶解装置」が好調に推移し、海外でも韓国向け「上水分析装置」が大口受注を獲得するなど、売上高は予想を上回ることが出来ました。

しかしながら、当グループは官公庁向けの売上比率が高いことから、例年、下期偏重傾向が強く、利益面では前年同期に比べ改善されたものの、損失となりました。

なお、通期予想につきましては、受注も順調であり前回発表予想を達成できる見込みです。

以上